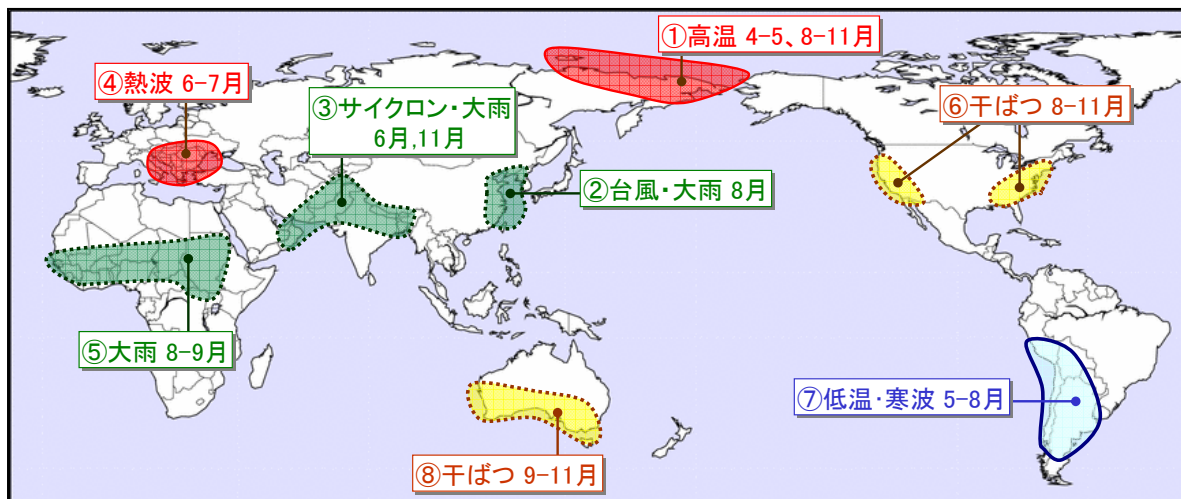


2007 年（平成 19 年）の世界の天候（速報） ～主な異常気象と気象災害～

- シベリア、ヨーロッパで異常高温が多発。
- 主な気象災害は、アジア南部のサイクロン、米国やオーストラリアの干ばつなど。

2007 年に発生した主な異常気象・気象災害は以下のとおりです。



世界の主な異常気象・気象災害（2007 年（平成 19 年）1 月～11 月）

異常気象や気象災害のうち、規模や被害が比較的大きかったものについて、おおよその地域・時期を示した。図中の番号は概況文の番号と対応している。

- ① 東シベリアの高温（4～5 月、8～11 月） 年を通してほとんどの月で気温が平年より高く、異常高温が多発しました。年平均気温は平年より 3℃以上高くなりました。
- ② 朝鮮半島～中国の台風・大雨（8 月） 黄海周辺に南よりの暖湿流が入ったほか、台風が相次いで中国南東部に接近・上陸した影響で、朝鮮半島で 600 人以上、華北や華南で合わせて 100 人以上の死者が伝えられました。
- ③ アジア南部のサイクロン・大雨（6 月、11 月） 6 月にはサイクロン「ゴヌ」と「イエミン」およびモンスーンの大雨により、オマーンやパキスタンなどで合わせて 300 人以上の死者が伝えられたほか、11 月にはサイクロン「シドル」によりバングラデシュで 3 千人以上の死者が伝えられました。

- ④ **ヨーロッパ南東部の熱波（6～7月）**：南よりの暖かい風が吹き込んだことや晴れた日が続いたことにより、ブルガリアやギリシャなど各地で日最高気温 40℃以上の日が続き、熱波による死者や森林火災の被害が伝えられました。
- ⑤ **アフリカ熱帯域の大雨（7～9月）** モンスーンの大雨によりアフリカ中西部から東部の多くの地域で被害が伝えられました。7月から9月の各月において各地で平年の2倍以上の降水量となりました。
- ⑥ **米国東部・西部の干ばつ（通年）** 米国東部では少雨となる月が多く、深刻な干ばつの被害が伝えられました。米国西部でも少雨傾向が続き、大規模な森林火災の被害が伝えられました。
- ⑦ **アルゼンチン周辺の低温・寒波（5～8月）** ラニーニャ現象等の影響により異常低温が継続しました。アルゼンチン北部では5～8月の4か月平均気温が平年より3℃以上低くなり、寒波による死者も伝えられました。
- ⑧ **オーストラリア南部の干ばつ（7～10月）** 年前半は多雨傾向の月もありましたが、7月以降に少雨傾向となり、6年以上続く干ばつの被害が伝えられました。

災害の被害については EM-DAT（国際的な災害データベース）等に基づいています。なお、気象庁では、週・月・季節・年毎に世界の天候や気象災害の資料をまとめ、気象庁ホームページに掲載しています(<http://www.data.jma.go.jp/gmd/cpd/monitor/>)。

【この件に関する連絡先：気象庁 地球環境・海洋部 気候情報課 03-3212-8341 内線 3157】